

# 多摩放射線技師連合会

## 第33回多摩放射線治療研究会

拝啓

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、本会へのご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2015年6月に診断考レベルの設定（DRLs 2015）が公表され、医療被ばくの正当化、適正化に向けた取組みが国を挙げて行われました。2020年4月には線量管理の義務化が実施となります。そこで今回多摩放射線治療研究会では放射線治療領域における被ばくを取り上げ、下記内容で開催いたします。興味のある方は奮ってご参加ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

**日時** : 令和2年3月5日（木）19:00～  
**場所** : 国立病院機構災害医療センター 地域研修センター（4階）  
（当日は救急外来入口よりお入りください）  
**参加費** : 500円（新卒・学生無料）多摩放技カード2ポイント付与

### ～プログラム～

19:00～19:30

#### 製品紹介

『固定具の要点』

エンジニアリングシステム 藤原 典央 氏

19:40～20:40

『 Non-Target-Dose を考える 』

#### ① IGRTに伴う被ばく線量

国立病院機構災害医療センター 阿部 秀崇 先生

#### ② 皮膚表面線量について

国立病院機構災害医療センター 小柳 恵輔 先生

#### ③ 照射野外線量の検討

国立病院機構災害医療センター 大森 智志 先生

※研究会終了後、懇親会（未定）を予定しております。

参加される方は [syalman@ks.kyorin-u.ac.jp](mailto:syalman@ks.kyorin-u.ac.jp)（水野）までご連絡ください。当日参加も受け付けますが、概算人数把握のためご協力お願い致します。

多摩放射線治療研究会 世話人

上窪 純史(共済立川病院) 熊本 隆司(JA 相模原協同病院) 下 貴裕(東京西徳洲会病院)

網野 和雅(東海大学医学部付属病院八王子病院) 安廣 哲(武蔵野赤十字病院) 杉田 正(国立病院機構災害医療センター) 石川雄一(青梅市立総合病院) 牧野薫(複十字病院) 土谷健人(公立福生病院)

〇問い合わせ先

多摩放射線治療研究会 代表世話人  
多摩放射線技師連合会 事務局

水野 将人 (杏林大学医学部付属病院)  
鮎川 幸司 (公立福生病院)

[syalman@kyorin-u.ac.jp](mailto:syalman@kyorin-u.ac.jp)  
[k.sake.0303@gmail.com](mailto:k.sake.0303@gmail.com)

協賛 : エンジニアリングシステム株式会社